

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮原因プランクトンであるアカシオ・サンガイネアが最大0.01細胞/ml、麻痺性貝毒原因プランクトンであるアレキサンドリウム属が最大0.19細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や水色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

※(本日の調査は、クロロフィル量が多い水深から採水し、海水100mlを1mlに濃縮したサンプルの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	採水水深	ココロディニウム ポリクリコイデス	アレキサンドリウム属	アカシオ サンガイネア
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)	(m)	(細胞/ml)		
藻津①(別図⑨) 採水時間 9:11 透明度 -	0.0	16.8	34.4	8.1				
	5.0	16.8	34.4	12.2	7	0	0.01	0
	10.0	16.8	34.5	15.7				
大島中央①(別図⑤) 採水時間 9:22 透明度 -	0.0	16.8	34.5	8.1				
	5.0	16.8	34.5	11.3	10	0	0	0
	10.0	16.8	34.5	9.9				
小筑紫中央①(別図⑬) 採水時間 9:32 透明度 -	0.0	17.0	27.9	8.3				
	5.0	17.0	34.6	8.0	9	0	0.02	0
	10.0	17.0	34.5	7.9				
栄喜奥(別図②) 採水時間 9:55 透明度 -	0.0	16.7	34.4	7.9				
	5.0	16.6	34.4	7.7	7	0	0.02	0
	10.0	16.6	34.4	7.7				
青瀬山(別図③) 採水時間 10:06 透明度 -	0.0	16.1	31.3	8.1				
	5.0	16.7	34.4	7.9	6	0	0.12	0.01
	10.0	16.6	34.4	7.9				
弘浦②(別図①) 採水時間 10:21 透明度 -	0.0	16.9	34.4	7.8				
	5.0	17.0	34.5	7.7	5	0	0.19	0
	10.0	17.0	34.5	7.7				